

令和3年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	4. 既存建築物耐震改修等支援事業
項	1. 土木管理費	中事業	
目	2. 建築管理費	担当所属	建築指導課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額		
臨時	補助	計画	0	0	4,989	実施計画	第2章	人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）	令和3年度	10,992
							基本施策6	消防・防災	令和4年度	10,992
							施策4	災害に備えた体制を整備します	令和5年度	10,992
									令和6年度	0
									令和7年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	5,048	
本年度当初査定額	4,269	9,434

財源内訳	国庫支出金	県支出金				その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0				5,048	△5,048
本年度当初査定額	3,145	1,124				0	5,165

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 木造住宅耐震診断、木造住宅補強改造工事並びにそれに伴うリフォーム、高齢者世帯等を対象とした耐震シェルターの設置並びにそれに伴うリフォーム、分譲マンションの耐震診断及び対象地区内のかさ上げ工事の一部費用の補助を行う。 また危険ブロック塀除却、フェンス設置及び緑化工事の一部費用の補助を行う。</p>	<p>(事業の目的) 戸建木造住宅の耐震診断を行い、必要に応じて補強工事を行うための経費の負担を軽減し、地震による被害の低減を目指します。 また、かさ上げ工事に係る経費の負担を軽減し、大雨などによる冠水被害の低減を目指します。 通学路、避難路に面する危険なコンクリートブロックを塀を除却し緑化することにより、災害時のブロック塀の倒壊被害を未然に防止します</p>	<p>(事業の効果) 木造住宅の耐震化や、浸水被害が想定される地域の住宅のかさ上げを行うことにより、市民が安心して日常生活を営むことが出来ます。 危険コンクリートブロック塀等を除却することにより、地震時における倒壊ブロック塀による事故などの2次災害を防ぎ、避難路の確保並びに消防車、救急車等の緊急車両の通路を確保し、市民の生命、財産の安全を確保できます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 特にありません。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 特にありません。</p>	<p>(見積についての特記事項) 特にありません。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	25	45	△20
18	9,409	239,669	△230,260

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	16	02	05	02	02	00	防災・安全社会資本整備交付金	3,744	3,145	75,493	△72,348
	17	02	05	01	01	00	住宅・建築物耐震関連事業補助金	1,304	1,124	2,939	△1,815
	17	02	05	01	98	00	被災住宅修繕緊急支援事業補助金	0	0	110,814	△110,814
差引一般財源								△5,048	5,165	△189,246	194,411